

“しゃもじプレート”を用いた 母指CM関節症に対する 第一中手骨骨切り術



溝口整形外科病院 副理事長
小川 光



【はじめに】

母指CM関節症に対する手術的治療として、Suspension Arthroplastyや関節固定術、靭帯再建術や第1中手骨骨切り術など様々な方法が報告されている。その中でも第1中手骨骨切り術は、関節を温存することができる手術法で1973年のWilsonの報告以降良好な臨床成績の報告が多くなされている。骨切り手術を行う時、骨の固定にはロッキングプレートを使用することが多いが、今まで専用のプレートがなかったため、色々なプレートを代用し使ってきた。このたび第1中手骨骨切り術専用の『しゃもじプレート』が使用可能となったため、そのプレートの紹介と実際に使用した症例を報告する。

【しゃもじプレート】

名前の通りのしゃもじの形をしたプレートで(図1)、日本人の第1中手骨基部の形状にあうように作成している。SサイズとLサイズの2種類の長さがあり、それぞれ0度と20度・30度に曲げた3種(図1)



類のプレートがある。φ2.0mmスクリューで長さが1mm間隔で用意されているため、スクリューの選択が容易である。



【手術手技】

母指CM関節より遠位に3-4cmの縦切開。橈骨神経浅枝の分枝に注意しながら短母指伸筋腱をよけて中手骨を展開、φ1.2mm鋼線をCM関節から12-15mmを目安とし関節面に平行となるよう挿入する。このときの刺入は、背側橈側から掌側尺側方向に行う。次に遠位の鋼線を25度の角度計を用いて、先ほどの鋼線に対して楔状になるように挿入する(症例に応じて20-30度まで角度計を選択)。鋼線に沿って骨切りを行うが、完全に切り離してしまうと骨切り部が不安定となるため掌側の皮質骨は一部残すようにする。また骨切り部が回旋しないように、目印をつけておくとよい。

φ1.4mm鋼線を挿入して骨切り部を固定、さらに大きな骨把持器にて骨切り部に圧着を加える。トリアルプレートを用いて、使用プレートのサイズと角度の確認を行う。プレートはベンディングを行うことも可能である。プレートの設置は、楕円スクリューホールの最近位部に骨切りラインが位置するようにするとよい。φ1.0mm鋼線でプレートの遠位と近位の仮固定ののち、ドリリング・スクリュー挿入を行う。最後に骨切り部の安定性、および関節面にスクリュー先端が突出していない事を確認、骨膜・皮下をモノフィラメント吸収糸で縫合する。術後、thumb spicaシーネ固定を行う。

【術後療法】

術後療法の1例を、下に示す。

骨切り術

	OPE	3日~1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	3M
術後経過日	術後~2日	3日~20日		21日~41日			42日~55日		56日~	
関節可動域訓練	RICE 指導	IP 関節他運動 MP・CM 関節自動運動		MP・CM 関節自動運動				積極的他動運動		
外固定	サムスパイカシヨート (MP・IP free)			室内 splint off 労作時・外出時・就寝時装着				Dr 確認後 splint off		
筋力訓練	なし	前腕筋力強化						pinch 強化 (骨癒合後)		

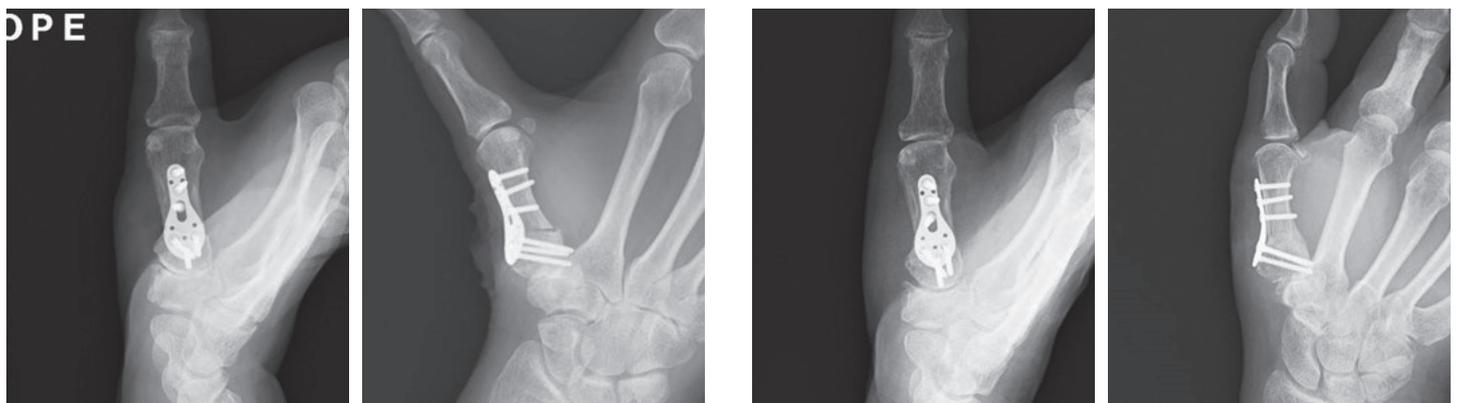
【症例】

59歳女性、3年前より特に誘引なく右母指CM関節痛出現。近医にて保存的加療を行うも改善なく当院へ紹介となる。右利き・歯科医師、母指CM関節に圧痛あり、握力Rt18kg Lt24kg、ピンチ力Rt3.5kg Lt7.5kg、XPIにてEaton分類stageⅢの

母指CM関節症を認める(図2)。痛みが強く安静時痛もあり、第1中手骨骨切り術を行った(図3)。術後2か月でXP上骨切り部の骨癒合は完了しており、母指CM関節痛は著明に改善し仕事に復帰している(図4)。



(図2) 術前レントゲン・CT



(図3) 術中レントゲン

(図4) 術後2か月レントゲン

【まとめ】

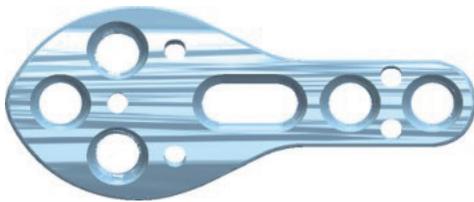
母指CM関節症に対する第一中手骨骨切り術に『しゃもじプレート』を使用し、良好な臨床成績を得ることができた。日本人の指にフィットする形

状であり、第一中手骨骨切り術専用デザインされたこのプレートは有効な選択肢の一つになりうる。

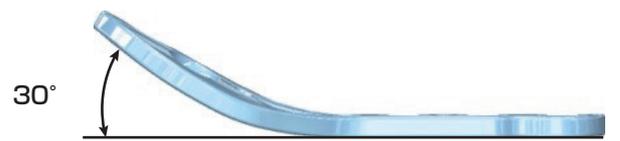
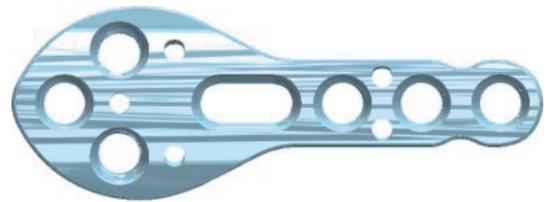
しゃもじプレート

size variation t=1.3mm

■ S サイズ



■ L サイズ



製品番号	製品名
MHL-CM1300	2.0mm用 ロッキング第一中手骨用プレート 0° 6穴 (全長 26.4mm)
MHL-CM1304	2.0mm用 ロッキング第一中手骨用プレート 20° 6穴 (全長 26.04mm)
MHL-CM1306	2.0mm用 ロッキング第一中手骨用プレート 30° 6穴 (全長 25.44mm)

製品番号	製品名
MHL-CM1310	2.0mm用 ロッキング第一中手骨用プレート 0° 7穴 (全長 31mm)
MHL-CM1314	2.0mm用 ロッキング第一中手骨用プレート 20° 7穴 (全長 30.64mm)
MHL-CM1316	2.0mm用 ロッキング第一中手骨用プレート 30° 7穴 (全長 30.04mm)

販売名：マルチハンドロックシステム
承認番号：30300BZX0094000


販売元
株式会社ステラ医療企画
 〒262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷 2-8-9
 ゼックスベルク 103 号室
 TEL.043-350-0320 FAX.043-350-0321
 その他の商品に関する情報はホームページをご覧ください。
<http://www.stellamed.co.jp>


製造販売元
株式会社ベアーメディック
 本 社 工 場 〒319-3526 茨城県久慈郡大子町大子1361
 東京営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ベアービル
 TEL.03-3818-4041(代) FAX.03-3818-4042
 その他の商品に関する情報はホームページをご覧ください。
<http://www.bearmedic.co.jp/>

